

神経内科での実習を終えて

石河 和将

私が神経内科をアドバンスで選択したのは、脳神経の分野に苦手意識を持っていてその苦手意識を克服したかったからです。実際に神経内科で実習させていただき、熱心な先生方にさまざまなことを教えていただいたので実習開始時と比較すると少し苦手意識がなくなったと思います。また、アドバンスの実習では患者さんと関わる機会が多くあったので神経診察や問診を数多く経験することができたことも大変勉強になりました。他にも針生検や筋電図、外来見学など、実際に先生方が行っている仕事を見学させていただくことで神経内科医の日常に触れることができ一層神経内科に興味を持つことができました。

太田熱海病院での実習では主に門脇先生のもと、疾患に対する知識はもちろんのこと、その患者さんに対して行った治療がなされた理由なども詳しく教えていただけき、より臨床的な知識を身に着けることができました。また、大学病院ではあまり見ることのない疾患の患者さんを多く学べたこともいい経験になりました。そして、訪問診療を見学することでどのような患者さんがどのような目的で訪問診療を利用しているのかを学ぶことができたことも貴重な経験となりました。

最後になりますが、神経内科の先生方には優しく丁寧にご指導いただき、大変感謝しております。1ヶ月間お忙しい中、大変お世話になりました。

神経内科での実習を終えて

121043 宜保 彩乃

4週間、神経内科で実習をさせていただきました。アドバンスコースで神経内科を選択した理由としては、少しでも苦手意識を減らしたかったというのが主なものとしてありました。実際実習を振り返ってみると、神経診察を多くやらせていただけて、自分の目で見て自分の頭で考える機会が毎日あり、とても勉強になりました。神経内科の分野は、神経診察によって、どの部分に病変があるはずだという目星をつけることができ、その後に検査をして所見と照合するということがほとんどで、他の診療科においてもそういったことはあると思うのですが、神経内科は特にそういった点でとてもロジカルだと感じました。複雑に見える疾患も脳神経に病変があって、そこから考えればこの症状が出る、そしてこの先出る可能性のある症状が予想できる、というように難しそうな診療科というイメージが強いですが、患者さんに寄り添える診療科であると思いました。なかなか治らない病気も多くて患者さんへの心のケアも大切になってきますが、福島県立医大の神経内科の先生方は患者さんにとっても優しく接しており、その姿から学び取ることも多くありました。そして私たち学生に対しても親切に、丁寧に指導してくださったので、とても有意義な実習を行うことができました。いつも優しく指導して下さった安田先生をはじめ、先生方みなさんにとっても感謝しています。少し神経内科への苦手意識が減ったように思います！4週間ありがとうございました。

神経内科での実習を終えて

121107 撫井 章弘

病棟実習を中心に4週間お世話になりました。実習が終わった今振り返ってみると、本当に密な4週間であったと改めて感じています。

神経内科は侵襲的な検査などを一切せずに、時間をかけた丁寧な診察で、病気の部位を同定し、諸検査と合わせて、診断、治療へとつなげることができるという点が大きな魅力であると感じました。実際に回診や外来などで診察を行った後に、先生が「この所見からは、〇〇が障害されていて、〇〇という病気が考えられるね。」とおっしゃっているのが本当に印象的で、加えて、この4週間で自分が患者さんに対して診察をさせてもらう機会を多くいただきましたが、その際に、漫然と診察をするだけで正確かつ必要な所見を取ることはなかなか難しく、正しく成されるには確かな技術と知識はもちろん、そしてそれ以上になにより患者さんの訴えに耳を傾ける力が必要であるということも学ぶことができました。患者さんの診察に毎日行くことで、その日毎の患者さんの調子や1日1日良くなっていく様子を見ることができ、神経内科の疾患は「治らない」なんてことはないと改めて知ることができたのも大きな学びです。

最後に、宇川教授をはじめ、神経内科の先生方、常に指導して下さった安田先生に心から感謝しております。アドバンス実習で神経内科を選択して本当によかったです。4週間本当にありがとうございました。

神経内科での実習を終えて

四ツ倉 莉子

わたしは正直3年生の座学の時から神経内科に苦手意識があり、それを払拭したいと思いアドバンスで選択させていただきました。神経内科の疾患は症状が多彩で、教科書だけの勉強ではなかなか覚えることができませんでした。この機会に1ヶ月かけて実際の患者さんから学ばせていただきながら勉強し、苦手分野から得意分野にして、神経内科を面白いと思えるようになることを目標にしました。

5年生の実習では、1週間という短い期間の中で患者さんの治療による症状の変化を一部分しか見ることができませんでした。今回は、4週間毎日の回診の中で症状が改善していく様子や急変してしまう様子を見ていくことができました。神経内科の疾患は治すのが難しいというイメージがありましたが、初めて見たときは意識状態も悪く意思疎通もほとんど図れなかった患者さんがみるみるうちに回復し、元気に歩く姿を見ることができたときは驚きと感動がありました。

担当させていただいた症例では、まだ登場して間もない治療法について勉強することができ、とても興味深く感じました。患者さんには問診や身体診察に協力していただき、先生方にはいろいろと教えていただき、沢山のアドバイスもいただきました。この4週間で

神経内科をじっくり勉強したつもりでしたが、勉強すればするほど奥が深く、得意分野といえるようになるには程遠いなと実感しました。しかし、以前のような苦手意識は薄れ、面白いと思うようになりました。これは神経内科での 4 週間の大きな収穫だと思っています。神経内科の先生方には 4 週間大変お世話になりました。患者さんの診察や検査の見学など様々なことを勉強する機会をくださり、本当にありがとうございました。

